

(仮称) 子ども包括支援センター これまで と 現在地

令和5年（2023年）6月29時点

日野市子ども部子ども家庭支援センター

目次

- 1 なぜ（仮称）子ども包括支援センターの発想に至ったのか？
- 2 人員体制
- 3 建築物など

1 なぜ（仮称）子ども包括支援センターの発想に至ったのか？

日野市の虐待相談件数の推移



児童虐待の相談対応件数の増加等、子育てに困難を抱える世帯がこれまで以上に顕在化してきている状況等を踏まえ、子育て世帯に対する**“包括的な支援”**の**為の“体制強化”**等が喫緊の課題となっている。

1 なぜ（仮称）子ども包括支援センターの発想に至ったのか？

H28年児童福祉法・母子保健法改正（H29年施行）

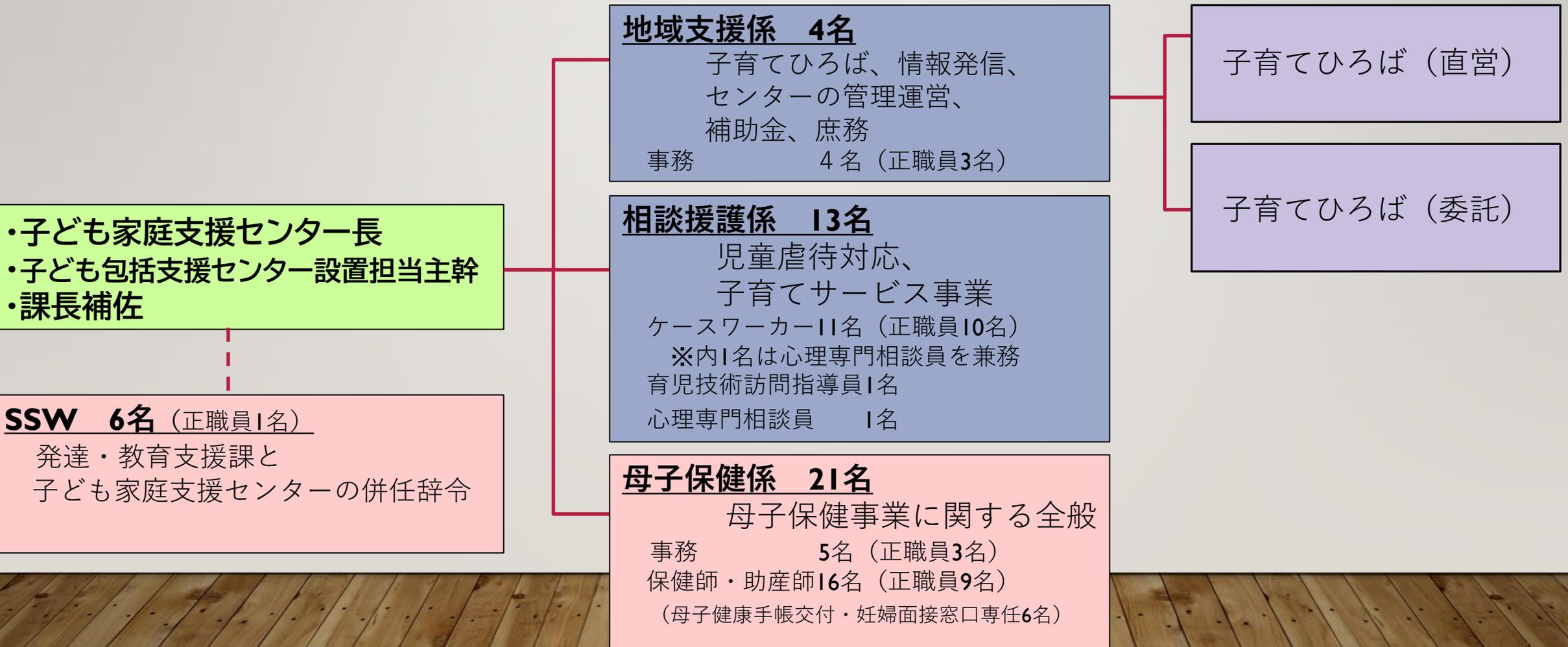
母子保健分野と子ども家庭分野の連携を強化し、切れ目ない支援を行うため、**同一の主担当機関が2つの機能を一体的に担う体制整備が望ましい。**（H31年関係閣僚会議、厚労省通知等）

R4年児童福祉法改正（R6年施行）

子育て世帯に対する包括的な支援のための体制強化及び事業の拡充として、市区町村は、全ての妊産婦・子育て世帯・子どもの包括的な相談支援等を行う**子ども家庭センターの設置に努める。**

2 人員体制

母子保健係（子育て世代包括支援センター）と相談援護係（子ども家庭総合支援拠点）の組織体制



3 建築物など



日野市役所本庁舎の横に建設

R5.2月 工事現場撮影

R5.6月 工事現場撮影

3 建築物など



所在：日野市神明一丁目13番地の2

- ・市役所本庁舎隣
- ・実践女子学園の神明校地の土地の一部を実践女子学園から無償で貸与

構造：鉄骨造

規模：地上3階建て

建築面積：862.24㎡

延床面積：2296.94㎡

環境配慮：太陽光設備、屋上緑化、多摩産材

福祉避難所に指定

3 建築物など

実践女子大学の生活環境学科学生2名が提案

はじまり R4.11.9キックオフミーティング

- ・市から実践女子大学にデザインを依頼
- ・実践女子大学と日野市でロゴなどの作成を通して、**学生の学びの深化と子育てが豊かになる**よう双方で目標を共有していきたい



3 建築物など

キャラクター ペたぺたさん

- このロゴには2つの顔があります。日野市は、日野市の子どもたちを取り巻く環境の負の側面から目を背けなかったからこそ（仮）子育て包括支援センター「みらいく」を作ろうと行動な さっているのだと思います。
- そのような負の側面も含め、これまでのことを無かったことにせず、**人々が寄り添いあい新しいものを作っていく、新しい自分を発見する、日野市と住民の新しい関係を築いていく**という想いを込めました。
- ロゴに使った3つの色は「常に変化する感情の移り変わり」を表現しています。3つの色には「色の変化の象徴」として「空の色」を採用し青空、日の出、夕焼けの色をしています。
- これから**いろんな色に変化していく可能性**があり、受け取り手によって印象が変化するようなデザインを目指しました。そして、とろっと溶けたような形状で、どんな形にも変化できその場に馴染む**どんな人にも寄り添う『みらいく』**を表現しました。

3 建築物など

- 視認性向上
- 白黒印刷対応
- 親しみやすさ

